

地域とつながる図書館
～指宿からの報告～

BOOK Café since 2018



平成30年7月9日（日）
特定非営利活動法人
本と人とをつなぐ「そらまめの会」
理事長 下吹越かおる



指定管理者としての生き方
地域と共に地域を支える
平成19年度から現在3期11年目



Ibusuki library

Yamagawa library



指宿図書館

山川図書館

開聞図書室の流れ

- 平成18年：指宿市・山川町・開聞町の1市2町が合併し新「指宿市」が誕生。指宿市立図書館は指宿図書館へ、山川町立図書館は山川図書館へ改名し、開聞図書室はそのままの名称とし存続した
- 全国5社の公募の中から、地元NPOの本と人をつなぐ「そらまめの会」が指宿図書館と山川図書館2館の受託者として選択され、平成19年4月より運営を開始。開聞図書室は直営のまま、市による継続運営となる
- 平成24年、開聞図書室閉室。本の移管作業は、NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」に託された。開聞図書室の業務は主に山川図書館に引き継がれた。今年3期11年目となる



◆ 指宿図書館の概要 ◆

<建物概要>

- ◆ 建築年 昭和59年 5月
- ◆ 敷地面積 2,737㎡ ◆ 建築面積 859㎡
- ◆ 延床面積 1,545㎡

<施設内容 >

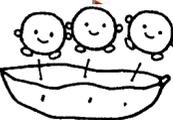
(昭和29年当時の看板) ⇒

- 1階：カウンター、一般開架室、ブラウジングコーナー、児童開架室、お話コーナー、ボランティアルーム（子育て支援ブース）、BM車庫、エレベーターなど
- 2階：郷土資料室（甘藷資料9000点含む）、視聴覚研修室、多目的集会室、学習スペース、閉架書庫、ボイラー室

- ◆ 蔵書数 99,074冊（平成30年3月末）
- ◆ 開館日数 290日
- ◆ 年間貸出冊数 105,260冊（1日平均 363冊）
- ◆ 年間入館者数 50,334人（1日平均 174人）
- ◆ 年間貸出人数 23,329人（1日平均 80冊）

<STAFF>

正規職員 4名、臨時3名（うち会計専1名、視聴覚ライブラリー兼任1名）
計7名（うち司書資格者5名）



◆ 山川図書館の概要 ◆

- ◆ 開館 昭和29年(1954年)に山川町立図書館設立 64年
昭和53年(1979年)山川町民会館図書室開室 40年
平成7年10月24日(1995年)山川図書館開館 築23年 通算創設64年目

<建物概要>

- ◆ 建築年 平成 7年 6月 ◆ 敷地面積 6,268㎡
- ◆ 建築面積 839㎡ ◆ 延床面積 1,591㎡

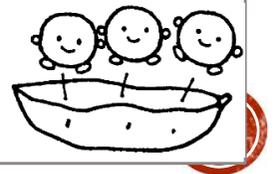
<施設内容>

1階：カウンター、一般開架室、児童開架室、ブラウジングコーナー、閉架書庫、
BM車庫、エントランスなど

2階：多目的ホール、展示コーナー、研修室など（文化施設・公民館）

- ◆ 蔵書数 61,179冊（平成30年3月末）
- ◆ 開館日数 287日
- ◆ 年間貸出冊数 56,260冊（1日平均 196冊）
- ◆ 年間入館者数 28,120人（1日平均 98人）
- ◆ 年間貸出人数 12,043人（1日平均 42人）

<STAFF> 正規職員 3名、臨時2名 計5名（うち司書資格者3名）



指宿図書館history

大正13年

(通算94年) 図書館費補助規定が制定されたことを受け、
同年7月1日に指宿村立図書館と今和泉村立図書館
が創立

昭和23年

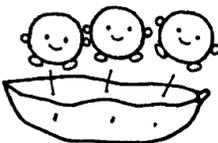
鹿児島県揖宿地区農業改良普及事務所付属指宿図書館
鹿児島県立図書館貸出文庫指宿出張所として発足

昭和29年

今和泉村との合併の為、指宿市立図書館として発足

昭和30年

柳和母親読書グループ発足(ここから発行の「文芸柳
和」が、現在の「文芸いぶすき」に移行し現在62号
原稿募集中)



昭和30年 「柳和母親読書グループ」が成立し、図書館はグループの育成に努めたこの活動が評価され、翌、昭和31年に鹿児島県図書館努力賞を受賞、9月にはNHKの番組内で紹介された。また10月には、同グループが図書館と協力して文集『柳和』を創刊し、昭和33年から『文芸いぶすき』に改題し、指宿市全体の文芸作品集へと発展した。実に175の読書グループがあり、1002名が所属し本を読んでいた。

昭和32年～33年 読書グループの育成で優良図書館として2連続表彰

昭和35年 東京都立日比谷図書館から職員を招待して読書グループ研究会を開催

昭和59年 指宿市十二町に新館が開館。現在34年経過



指宿図書館と椋鳩十氏

農業相談や技術指導に応じながら「農村図書館」の構想

鹿児島県指宿地区農業改良事務所附属指宿町立図書館・鹿児島県立図書館貸出文庫指宿出張所」発足

昭和三十年から四十年の十年間、「柳和母親読書グループ」の例会に毎月一回も欠かさず参会

農村においては、まだ旧弊な考えが頑固に根を張っていた時代に、読書をする女は特別な目で見られ、本好きの嫁は姑や周囲の厳しい視線のなかで身の縮む思いをしながら読書をひそかに楽しんでいた

「図書館問題研究会会報誌」昭和五八年六月号

椋鳩十記念館発行「紀要」平成十五年三月号より(寄稿者・元指宿市立図書館司書・大吉通子氏)

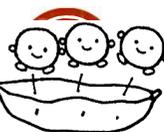


「鹿児島県揖宿地区農業改良事務所 附属 指宿町立図書館 鹿児島県立図書館貸出 文庫指宿出張所」

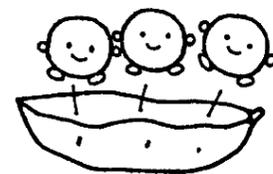
鹿児島県立図書館 昭和24年 ジープによる配本を開始、昭和30年 移動図書館車「すばる」号を走らせた
海音寺潮五郎、島尾敏雄など指宿との関わり
輝かしい歴史ある図書館



久保田彦穂館長は実に10年間欠かすことなく指宿市立図書館に通っていた。



まちから消えた移動図書館車 在りし日のつまべに号



移動図書館号を再び

図書館まで来れない人にこそ本を届けたい遠隔地サービスこそ図書館の使命
自ら本を買える大人はまだいい子どもや高齢者はどうしたらよいのだろう



指宿市シビックカフェ事業

(<https://www.city.ibusuki.lg.jp/main/kyosei/kyosei/machi/page004819.html>)

人と人が交差する居心地の良い場所

飲み物OK! WI-FI OK! 小さな雑談OK!

図書館の外も図書館構想

サードプレイス（居場所）としての図書館



表彰

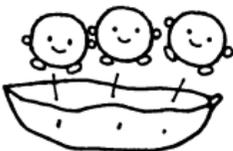
- 平成29年度
指宿市 社会教育優良団体表彰
- 平成30年度
鹿児島県 子供の読書活動優秀実践図書館表彰
- 平成30年度
子供の読書活動優秀実践図書館の文部科学大臣表彰
- 第4回 かごしまキラリ女性大賞表彰
- 平成29年度 ソロプチミスト日本財団 社会ボランティア賞受賞

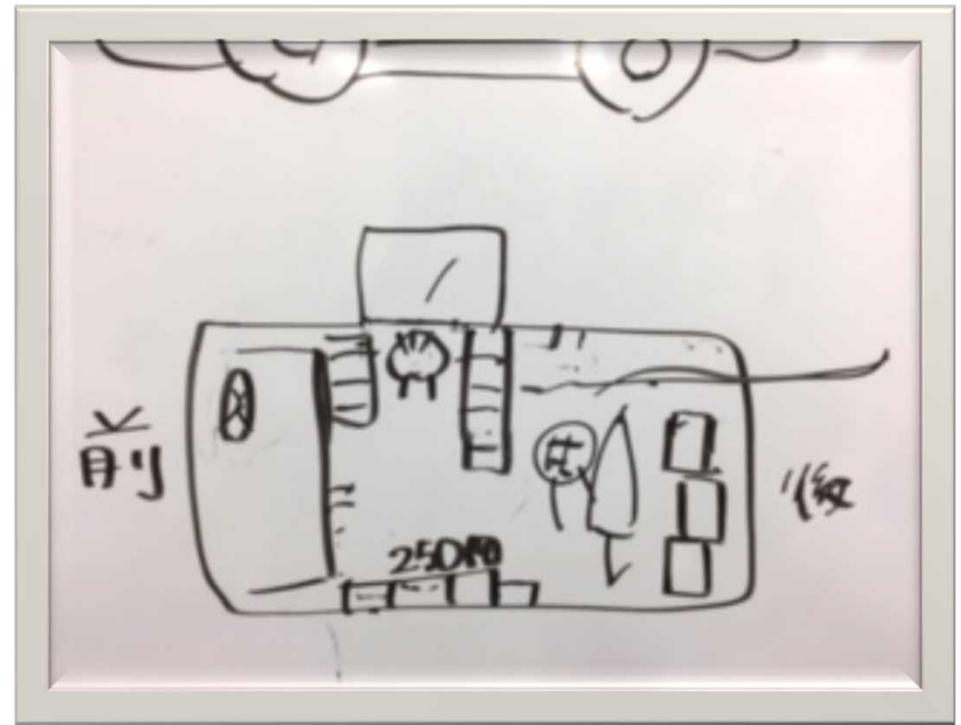


アウトプット事業

子どもの図書利用の利便を高め、知ることの楽しさを発見する出会いの場づくりをすることで生涯学習活動の推進に結びつく

- 総務省の地域情報化アドバイザー派遣事業
- 講師の岡本真氏（アカデミック・リソース・ガイド）との出会い
（25年、26年、28年の3年間の支援。3年目の挑戦
クラウドファンディング）
- READYFORとの出会い





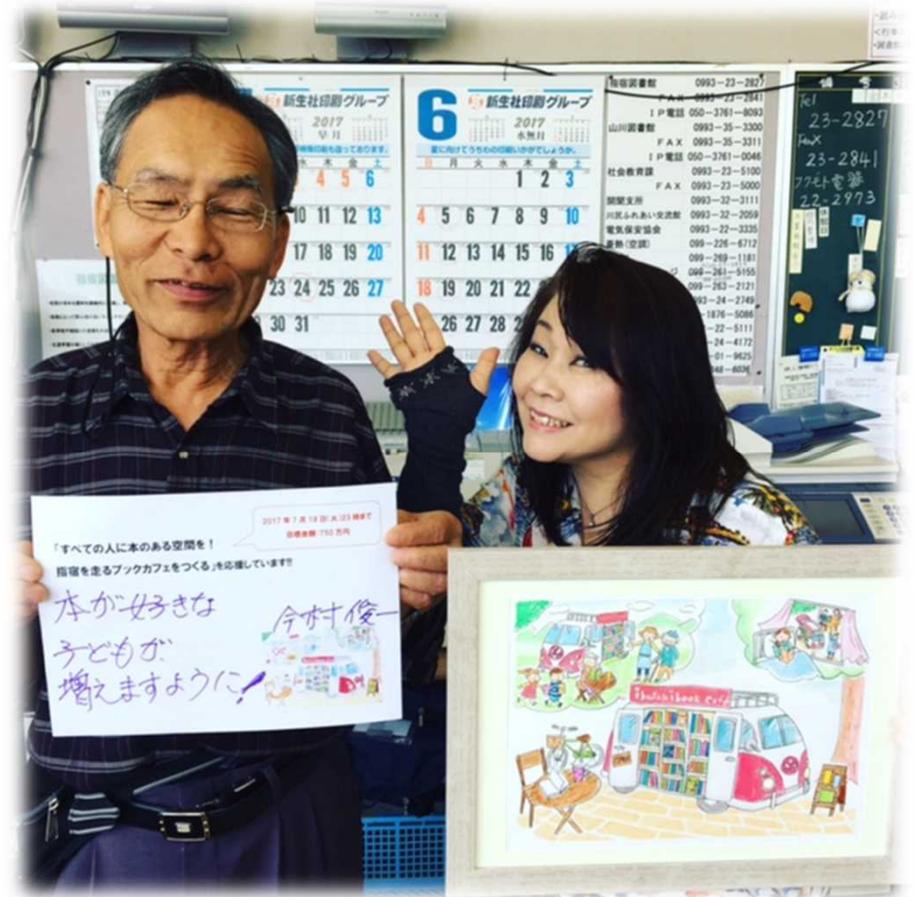
はじめは漠然



同じ市民に等しい環境を 自分たちのまちを自分たちで育て合う



あなたの元へ出かけた
他人事から自分事へ
巻き込み力！！



雲をつかむような話

指宿から全国へ！本のある空間を届けるブックカフェプロジェクト

鹿児島県 地域 地域文化 観光 まちづくり 子ども・教育 特産品 本・漫画・写真 伝統文化

NEXT GOAL
挑戦中

鹿児島・指宿から全国へ！
すべての人に
本のある空間を届ける
ブックカフェプロジェクト

NPO法人
本と人とをつなぐ
「そらまめの会」



下吹越かおる（特定非営利活動法人
「そらまめの会」）

支援総額	11,595,000円
目標金額	13,000,000円
 第一目標金額	7,500,000円
支援者数	471人
残り日数	0時間 59分 15秒

購入型 All or Nothing

154%

このプロジェクトを支援する



エピソード

寺崎さんとの出会い（今林会計事務所専務）周年行事

山川漁協協同組合

かいゑい漁協組合

宮園病院

開聞保育園

開聞歯科

小田口屋（さつま揚げの売上）

吉元君の缶バッジ

おばあちゃんの気持ち、しわくちゃんな1000円札

ロータリークラブ、ライオンズクラブ、商工会議所、青年会議所

失敗しろと怒鳴られる

拒絶に慣れる



地元会計事務所のネーミングライツ



「嬉しかったんだ！
指宿にもCFなんてこと
やろうなんて人たちが
出てきたことが。夢
があれば叶えていける
時代がきたんだ。」

「茶色のシマウマ、世界を変える」
初の全寮制インターナショナル高校ISAKをつくった 小林りんの物語
「奇跡のりんご」の 石川 拓治 著

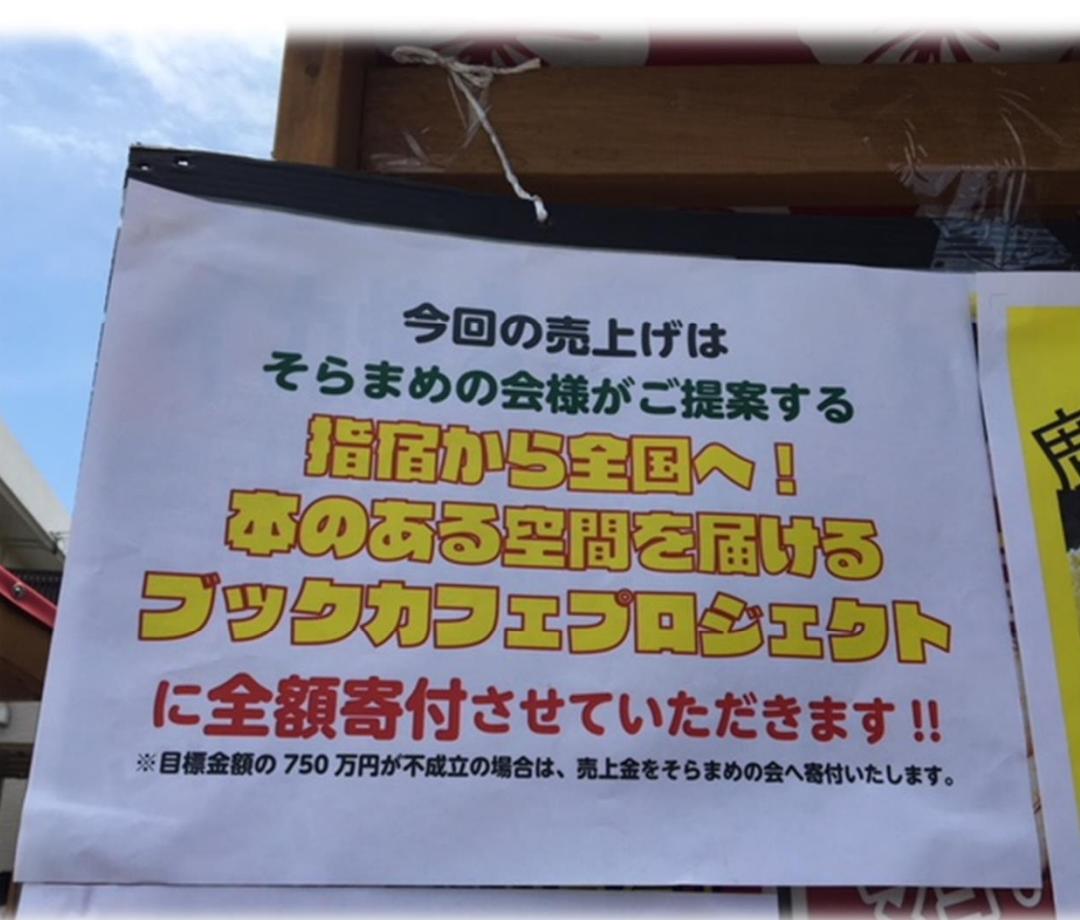


これでバスを買う足しにして



缶バッジ大作戦！！
支援者の7割近くが地元から





達成！！



READYFOR OF THE YEAR賞



READYFOR 賞 14/1185

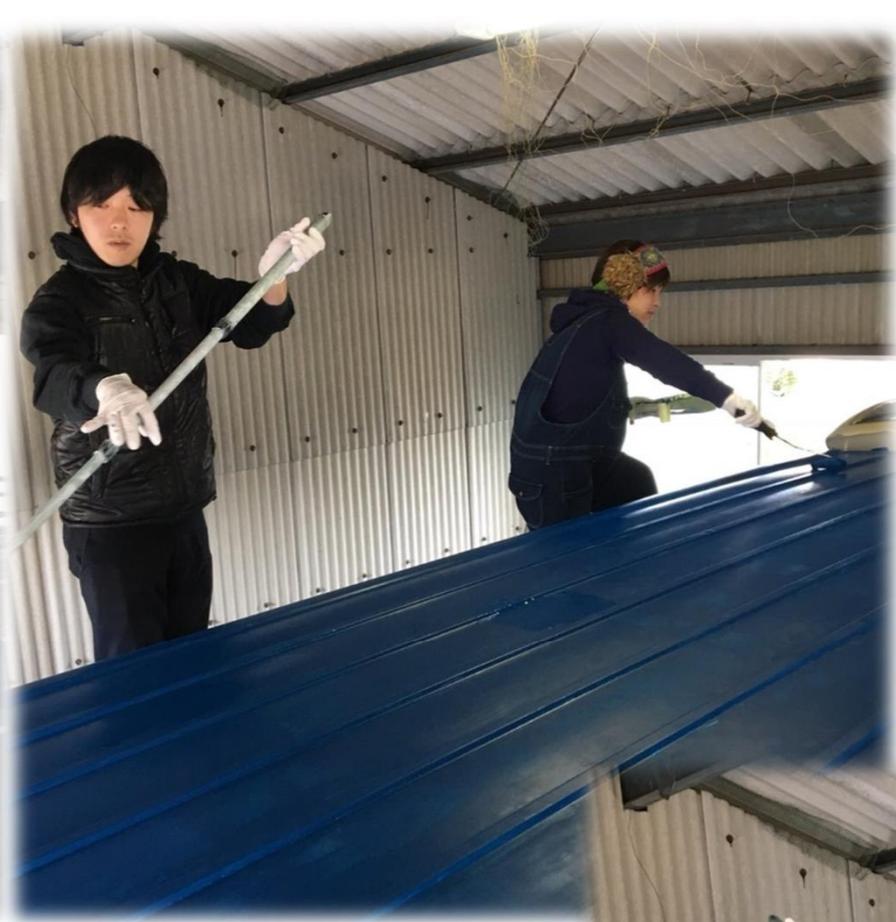


































BOOK CAFE
IBUSUKI

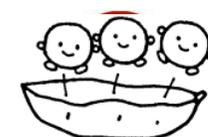
祝 BOOK CAFE 5周年
Thank you!!

IBUSUKI



成功したのはなぜか

- 本力を信じているという揺らぎない信念
- 指宿の未来である子ども達を地域で育む思い
- Plan（計画）、How（やり方）、Do（実行） 専門家のナビ
- 仲間、縁、結
- 拒絶は当たり前、拒絶に負けない、慣れる
- 田舎でのCFは足で回る
- とりあえず思いを心の中から口にする
- 支えてきたのは図書館運営の10年の基盤
- 助けたい人はいる。その人にどうつながるか



課題

運用のビジョン

動くこと

実績

継続支援

平成30年10月30～11月1日

第10回 図書館総合展 パシフィコ横浜へ

日本横断して 旅する図書館へ



知ることは生きること
子どもたちの笑顔のそばにいつも本を



ご清聴いただきありがとうございました。

